

## 四国財務局における多重債務相談の受付状況について 〈平成29年度〉

四国財務局では、借金を抱えてお悩みの方々からの相談に応じるため、専門相談員2名を配置し、多重債務問題の解決に向けた助言を行うとともに、必要に応じて弁護士や司法書士等の法律の専門家をご紹介します。

- 1. 平成29年度の相談件数は57件。**
  - 平成29年度の相談件数は、57件（前年度実績：53件）と前年より微増しています。
- 2. 相談者の内訳は、年齢別では中高齢者、職業別では給与所得者が多い。**
  - 相談者の内訳をみると、「60代以上」が最も多く29.8%。次いで「50代」が26.3%と続いています。
  - 職業別では、「給与所得者」が56.1%と半数以上を占めており、次いで「無職（年金生活者をを含む）」の22.8%となっています。
  - 年収別の構成比では、「300万円未満の世帯」が52.6%で半数以上を占めています。
- 3. 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」を主因とするものが多い。**
  - 借入金額は、「300万円未満」が43.9%、「600万円以上」が38.6%となっています。
  - 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」が34%で最も多く、商品購入、キャンセル、住宅ローンが占める割合が昨年に比べ増えています。
- 4. 借入先は、クレジットカードのキャッシングの割合が最も多い。**
  - 個人での借入先は、クレジットカードのキャッシングが33%と最も多く、次いで消費者金融の29.7%と続きます。消費者金融の占める割合は、前年は20.0%と一旦減ったものの、再び増加しました。
- 5. 相談受付件数の約4分の1を法律専門家に引き継ぎ。**
  - 当局相談窓口では、専門相談員が助言を行うほか、必要に応じ、弁護士や司法書士等の法律専門家に引き継いでおり、全相談の4分の1を専門家に引き継ぎました。

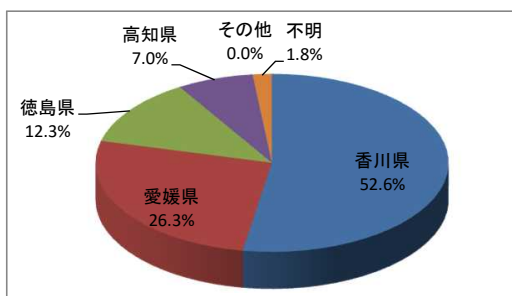
### 多重債務者相談窓口のご案内(相談無料・秘密厳守)

直通電話 **087-811-7801** (香川県高松市サンポート3番33号サンポート合同庁舎南館7階)  
相談受付時間 9時～12時 13時～17時 月曜～金曜(年末年始および祝日を除く)

**一人で悩まず、まずはご相談ください。電話相談の場合、こちらから電話のかけ直しをします。**

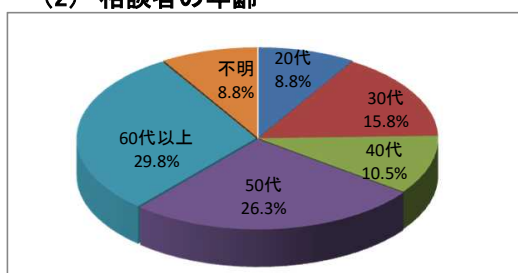
# 1. 相談者のプロフィール等

## (1) 相談者の居住地



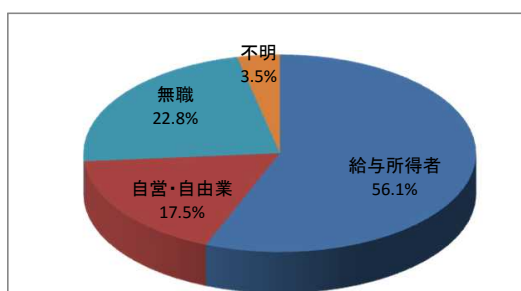
居住地	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
香川県	30	52.6%	30	56.6%	42	49.4%
愛媛県	15	26.3%	15	28.3%	24	28.2%
徳島県	7	12.3%	5	9.4%	11	12.9%
高知県	4	7.0%	1	1.9%	6	7.1%
その他	0	0.0%	2	3.8%	2	2.4%
不明	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
合計	57	-	53	-	85	-

## (2) 相談者の年齢



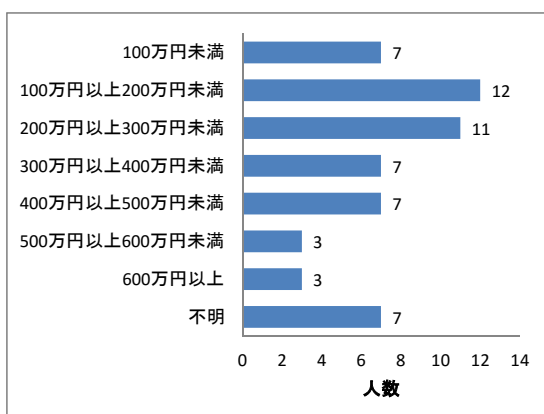
年齢	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	5	8.8%	3	5.7%	8	9.4%
30代	9	15.8%	6	11.3%	13	15.3%
40代	6	10.5%	12	22.6%	21	24.7%
50代	15	26.3%	11	20.8%	18	21.2%
60代以上	17	29.8%	19	35.8%	20	23.5%
不明	2	3.5%	2	3.8%	5	5.9%
合計	57	-	53	-	85	-

## (3) 相談者の職業



職業	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
給与所得者	32	56.1%	22	41.5%	45	52.9%
自営・自由業	10	17.5%	16	30.2%	15	17.6%
家事従事者	0	0.0%	1	1.9%	0	0.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無職	13	22.8%	12	22.6%	19	22.4%
不明	2	3.5%	2	3.8%	6	7.1%
合計	57	-	53	-	85	-

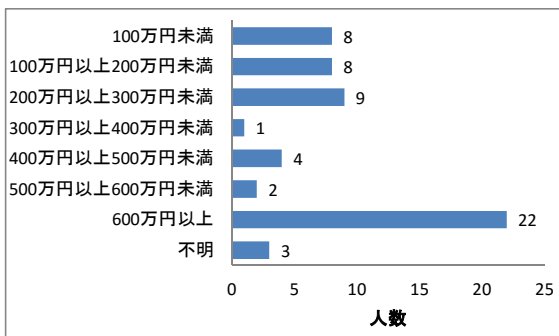
## (4) 相談者(世帯)の年収



年収	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	7	12.3%	11	20.8%	12	14.1%
100万円以上200万円未満	12	21.1%	9	17.0%	14	16.5%
200万円以上300万円未満	11	19.3%	9	17.0%	16	18.8%
300万円以上400万円未満	7	12.3%	8	15.1%	14	16.5%
400万円以上500万円未満	7	12.3%	5	9.4%	7	8.2%
500万円以上600万円未満	3	5.3%	0	0.0%	4	4.7%
600万円以上	3	5.3%	1	1.9%	6	7.1%
不明	7	12.3%	10	18.9%	12	14.1%
合計	57	-	53	-	85	-

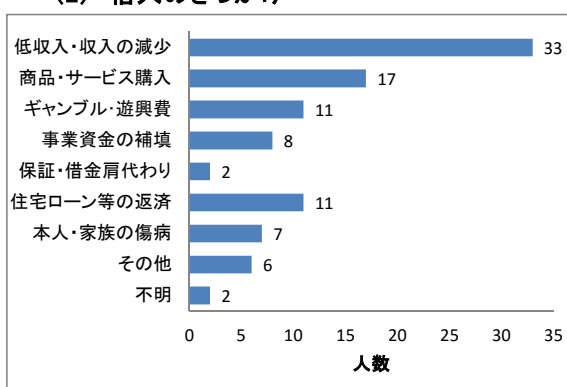
## 2. 相談内容

### (1) 借金の金額



借金の額	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	8	14.0%	5	9.4%	17	20.0%
100万円以上200万円未満	8	14.0%	8	15.1%	10	11.8%
200万円以上300万円未満	9	15.8%	6	11.3%	7	8.2%
300万円以上400万円未満	1	1.8%	2	3.8%	8	9.4%
400万円以上500万円未満	4	7.0%	2	3.8%	2	2.4%
500万円以上600万円未満	2	3.5%	5	9.4%	4	4.7%
600万円以上	22	38.6%	17	32.1%	28	32.9%
不明	3	5.3%	8	15.1%	9	10.6%
合計	57	-	53	-	85	-

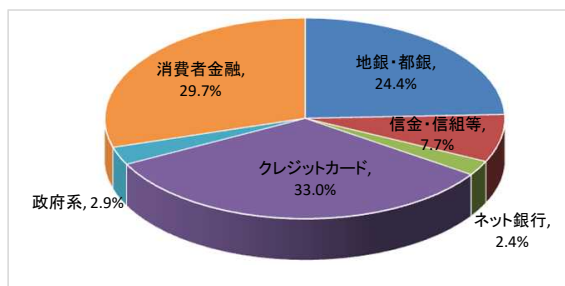
### (2) 借入のきっかけ



借入のきっかけ	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
低収入・収入の減少	33	34.0%	15	23.8%	28	26.4%
商品・サービス購入	17	17.5%	8	12.7%	11	10.4%
ギャンブル・遊興費	11	11.3%	4	6.3%	12	11.3%
事業資金の補填	8	8.2%	15	23.8%	14	13.2%
保証・借金肩代わり	2	2.1%	1	1.6%	5	4.7%
住宅ローン等の返済	11	11.3%	5	7.9%	17	16.0%
本人・家族の傷病	7	7.2%	3	4.8%	7	6.6%
その他	6	6.2%	8	12.7%	5	4.7%
不明	2	2.1%	4	6.3%	7	6.6%
合計	97	-	63	-	106	-

※複数回答有

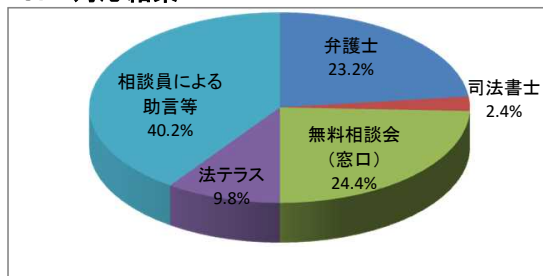
### (3) 借入先(住宅ローンを除く個人債務分)



借入先	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
地銀・都銀	51	24.4%	32	26.7%	56	25.7%
信金・信組等	16	7.7%	11	9.2%	13	6.0%
ネット銀行	5	2.4%	4	3.3%	3	1.4%
クレジットカード	69	33.0%	49	40.8%	63	28.9%
政府系金融機関	6	2.9%	0	0.0%	2	0.9%
消費者金融	62	29.7%	24	20.0%	81	37.2%
合計	209	-	120	-	218	-

※複数回答有

## 3. 対応結果



対応結果	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
弁護士に引き継ぎ	19	23.2%	17	28.8%	25	26.6%
司法書士に引き継ぎ	2	2.4%	4	6.8%	6	6.4%
無料相談会等を案内	20	24.4%	7	11.9%	6	6.4%
法テラスを案内	8	9.8%	5	8.5%	6	6.4%
相談員による助言等	33	40.2%	26	44.1%	51	54.3%
合計	82	-	59	-	94	-

※複数回答有

※各頁の構成比の合計は、四捨五入のため100%にならない場合があります。

#### 4. 相談・対応事例

##### ◆事例1 他人のための借金（20代女性 債務額250万円）

###### 【相談事例】

SNSで知り合った男性と自分のアパートで暮らし始めた。その後、彼が失業し、「お金がないので困っている。でも、俺の名義ではお金が借りられない。お金が必要だ。」と言われ、彼のために自分名義でお金を借りた。だが、彼の要求は段々エスカレートしていき、気が付けば数ヶ月で借金が250万円に膨れ上がっていた。他人のために借金をしたので自己破産はしたくないが、何から手を付ければよいのかわからない。

###### 【相談への対応】

一刻も早く男性と別れて、自己破産を視野に入れて今後の生活再建を考えるように伝え、法テラスと契約している弁護士に取り次ぎを行った。後日、本人より弁護士に自己破産の処理を委任すると連絡があった。

##### ◆事例2 経営不振による借金（50代男性 債務額830万円）

###### 【相談事例】

はり治療院を営んでいる個人事業主。起業から順調に客数が増え、売上も増収したので店舗兼住宅を購入した。だが、同業者の増加により、次第に客数が途絶え始め、大幅に収入が減少した。そのため、銀行のカードローンで借金を繰り返すようになった。今後のことを考えて別の資格も取得した。その資格を活かして開業し、はり治療院と両方頑張りたいと思っているので、自己破産だけは避けたい。

###### 【相談への対応】

相談者は真面目でギャンブルもせず個人間での金銭の貸し借りもない。資格を取得し開業を希望しているが、現状と生活再建を考えると、法的手続きが必要だと思われるので、専門家の意見を聞いてみてはどうかと伝え、弁護士に取り次ぎを行い、その後個人再生で債務整理することになった。

##### ◆事例3 買い物依存による借金（30代女性 債務額150万円）

###### 【相談内容】

娘が、仕事のストレスから逃れるために買い物を重ね、クレジットカード利用限度額まで使っている。娘は、自分の状態を悲観しつつも、新しくカードを作りたい衝動に駆られるらしく、「自分は病気になるのでブラックリストに載せてもらえない」と言っている。精神的な面は既に精神保健福祉センターに相談しているが、借金については貴局に相談してはどうかと案内された。借金は支払いができない額ではない。

###### 【相談への対応】

遅延や債務整理があれば、信用情報にその掲載がなされ、一定期間は借り入れができなくなる。しかし、支払い可能ならば、貸金業協会の貸付自粛制度を利用してはどうかと伝えた。本人申告のため、一定期間経過後は申告の取り下げも可能であると説明し、詳しくは貸金業協会に問い合わせよう連絡先を案内したところ、早速本人が申し出をすることになった。